

学校だより



【9月3日市芸術祭に出演した5年生のみなさん。踊っているところは著作権の関係で載せられません。】(校長室より) R4.9.12

今朝、いつものように通勤路を走っていて、県道徳島鴨島線に入った時、ちょうど正面に丸い月が見えていました。今年の中秋の名月は9月10日でした(私は見逃してしまいました)。まだ満月から間がないため、通勤の時間帯に見えました。6年生の理科では、ちょうど月の動きと形の勉強をしています。あと何日かは起きている間に東の空から上ってくる月や、西の空に沈む月が見えるかもしれませんね。



満月(月齢15日の月=十五夜)は日没とほぼ同時に出てきますが、その後は月の出がおよそ50分ずつ遅くなるそうです。昔の人は、16日の月は月が出てくるのをいざよう(ためらっている)ようだとして「十六夜(いざよい)」、17日はさらにおそくなるので、まだかまだかと立って待つ「立待月(たちまちづき)」、18日は待ちくたびれて座ってしまうので「居待月(いまちづき)」、19日はもう床(お布団のこと)に入って待つから「寝待月(ねまちづき)」、20日は夜も更ける頃なので「更待月(ふけまちづき)」・・・などと、とても風流な呼び方をしていたそうです。遙か遠い昔に思いをはせながら、秋の夜長にゆっくりと月を眺めてみるのもいいものですね。



2001年9月11日は、アメリカ合衆国で同時多発テロがあった日です。昨日、テレビを見ていて、あの出来事からもう21年も経ったことを耳にし、驚かされました。というのも、あまりに衝撃的な事件だったので、もっと最近に起こった出来事のように感じ

【米同時多発テロ写真特集@jiji.comより】

ているからです。そこで今朝の朝会では、子供たちに次のようなことを話しました。

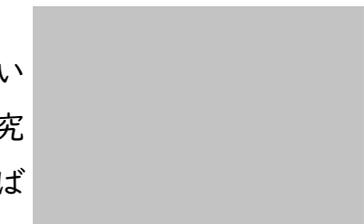
「テロ」とは、暴力で自分の考えを押し通そうとすることであり、それは、絶対に許されないこと。身近な暴力も許してはいけないこと。そして、『鬼滅の刃(無限列車編)』を見て、私の心に残っている煉獄杏寿郎の母の言葉です。↓↓↓

「天から^{たまわ}りし力^{ちから}で人を傷つけること、私腹^{しふく}を肥^こやすことは許^{ゆる}されません。

弱^{よわ}き人を助^{たす}けることは、強^{つよ}く生まれた者^{もの}の責^{せき}務^むです。」

少し難しい言葉があるので、わからない言葉は辞書で調べたり、おうちの人に教えてもらったりしてみてください。

また、6年生では国語科の「平和の^{とりて}砦^{とりで}をきずく」という単元で、平和について考える学習があります。今、まさに戦争が起きている国もあります。戦争も究極の暴力だと思います。そんな戦争、暴力が生まれないためにはどうすればよいのか、平和とは何かをしっかりと考えてほしいと思います。



【原爆ドーム@ウィキペディアより】